

日野市教育委員会 殿

幼稚園名 日野市立七幼稚園
幼稚園長名 石川 星子
(公印省略)

令和7年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立幼稚園に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人間尊重の精神を基盤に、様々な生活経験を通して自我を形成し、生きる力の基礎を培い、主体的で心豊かな幼児の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 元気もりもり (こころもからだも元気な子ども)
- ◎ 友だちいっぱい (友だちが大好きな子ども)
- やる気まんまん (感じ、考え、表現する子ども)

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- ・ 幼児が主体的に身近な環境に関わる体験を通して、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の生きる力の基礎となる力を培う。
- ・ 幼児が様々な事柄や事象と向き合う中で、自ら考えさせることを通して、幼児期にふさわしい知的発達を促す教育を継続的に行う。
- ・ 特別な配慮を必要とする幼児を含む、全ての幼児の発達の特性に応じた支援や指導を行い、個に応じた教育の充実に努める。
- ・ 友達と触れ合い、互いの思いを表現し合う中で多様な感情を味わわせ、自他を大切にすることができたり自己を抑える気持ちなどの人と関わる力や、社会生活や集団生活のルールを守ろうとするなどの社会性や道徳性の芽生えを培う。
- ・ 健康で安全な生活が送れるように、基本的な生活習慣や態度の定着を図ることを基盤に、安全教育や食育活動、体力向上を目指した丈夫な体づくりを推進する。
- ・ 同年齢・異年齢・異校種との関わりから、自尊感情、他者を認める姿勢、思いやりの心、多様性などの人権意識を養い人との関わりを基盤とする信頼関係を築く力の育成を目指す。
- ・ 小学校への円滑な接続を目指し、互惠性のある教育活動を進め、職員同士が互いに理解し合い、学びの連続性を目指した幼児・児童理解及び教育内容の充実に努める。
- ・ 地域の資源や人材を活かしながら、身近な自然、伝統や文化、専門性のある教育内容などに直接的、連続的に触れる体験を通して、興味・関心を高め、豊かな感性を育む。
- ・ 教育水準の維持・向上、及び幼児の健やかな成長を保障するために、自己点検・自己評価を定期的に行うとともに、保護者からの評価を指導計画に生かした園運営を行う。
- ・ 園と家庭との生活が連続して営まれるよう、保護者との連携を十分に図るとともに、保護者が幼稚園とともに幼児を育てる意識が高まる教育活動を推進する。
- ・ 一人一人の生命や体を大切にすることができたり姿勢や態度が育まれるよう、幼児の発達段階に応じた自分や他について気付いたり知ったりする場面や機会をとらえ、生命(いのち)の安全教育を推進する。
- ・ 第4次日野市学校教育基本構想に基づき「幼稚園って楽しい!みんな友達!」プロジェクトを推進し、相手に親しみをもったり自他の良さを感じたりすることができるように、多様な人と関わる活動を計画的に設け、幼児が自ら行動して人と関わったりものごとに取り組んだりしていく力につなげていく。

2 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施に関わる指導の重点

4歳児

- ・教師との信頼関係を基に安心して園生活を送り、自分らしく思いを表していく心地よさを感じる。
- ・自分なりに様々な活動に取り組む中で、自分の力を出したり繰り返し取り組んだりする楽しさや、少し頑張ったり、できた喜びを味わったりしながら、周りのひと、もの、ことに興味・関心の幅を広げていく。
- ・園生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けるとともに、集団生活の決まりや約束を守ることの大切さを感じ、自分から行動しようとする。

5歳児

- ・様々な遊びや活動に繰り返し試したり工夫したりしながら粘り強く取り組み、やり遂げた達成感を味わい、主体的に園生活を送る楽しさを味わう。
- ・学級、グループの目的や課題を理解して取り組み、一人一人が自分の力を発揮したり互いの良さを認めたり、生かしたりしながら協同してやり遂げた喜びを味わい、つながりを深めていく。
- ・園生活を送る中で遊びや生活の決まり、約束を守る大切さを感じたり、場面や状況にあった適切な言動に気付いたりする体験を積み重ね、自分なりによく考えて行動しようとする姿勢を身に付ける。
- ・身近な環境に興味・関心をもって関わる中で、おもしろさや不思議さを感じ、好奇心をもって考えたり、試したりする。

(2) 環境の構成

- ・幼児が進んで様々な「ひと・もの・こと」に関わりながら、望ましい経験が積み重ねられるように、実態や発達段階、興味・関心に即した道具や素材、材料を選定したり、活動の流れに沿って精査したりするなど、ユニバーサルデザインに基づいた環境構成を工夫する。
- ・知的好奇心の芽生えが培われるよう、幼児の気付きや発見を受け止めたり、広めたりするとともに、周りの事柄に自ら関わりやすいような環境設定や再構成などの工夫を行う。
- ・一人一人が安心して園生活を送れるように、全職員が連携し、職員間の共通理解と協力体制の基盤をつくる。
- ・園内外の自然を有効活用し、不思議さやおもしろさ、美しさなどを感じる心揺さぶられる体験を楽しめるように、連続性のある援助や環境構成を行う。
- ・個別指導計画を作成し、それを基に、保護者、保育カウンセラーなどの様々な人々や発達・教育支援センター、七生特別支援学校等の関係諸機関と連携を図り、特別な支援を要する幼児の実態や特性に合わせた細やかな指導を行う。
- ・幼児が生活体験の幅を広げながら、互いの良さを認め合い、温かい人間関係を築いたり刺激を受け合ったりするなどの人と関わる力が育まれるよう、同年齢・異年齢・異校種・保護者との交流を意図的、計画的に設ける。
- ・体幹づくり、体力向上を図るために、コオーディネーショントレーニングや集団遊びを行う機会を意図的・計画的に設けるとともに、運動遊びに進んで取り組み、自分なりの目標に向かって挑戦できるよう、幼児の発達や興味・関心に適した活動、遊具・教材の選定、場の構成などを行う。
- ・食の循環の体験を積み重ねていくことで興味・関心が深まるように、食育年間計画の中に土づくりや野菜の栽培を位置づけ、年間の見通しをもって栽培環境を準備する。
- ・幼児が自分の思いや考えを言葉で表現する楽しさや、友達と思いを伝え合う喜びが感じられる遊びや活動を積み重ねることで、話すことや聞くことへの意欲や態度を育むとともに、言葉に対する感覚を養い、イメージや言葉が豊かになるような絵本、紙芝居の読み聞かせを継続的に行うなどの言語活動の充実を図る。
- ・幼児が自分の住んでいる地域や国のことや身近な世界の国や人の存在に関心をもてるよう、日本や外国の絵本、歌、国旗などに親しむ機会を意図的、計画的に設ける。

(3) 開かれた幼稚園づくりの推進

- ・ 保育参観や保育公開、保護者会、各種便り、学校 Web ページなどによる情報発信や、毎日の登降園時に園の様子を直接伝える機会を通して、幼稚園の教育方針や教育内容、幼児の姿を分かりやすく保護者に伝え、見える幼稚園づくりを進める。
- ・ 幼児が安全に生活するために必要な習慣や態度を身に付けられるよう、安全指導や避難訓練の充実を図り、保護者にも安全に対する意識が高まるように発信方法を工夫していく。また、駐在所や消防署などの近隣施設と連携を図り、地域全体で園児を含む地域の子どもを見守り育てる安全・安心な体制づくりをする。
- ・ ひのっこカリキュラムを活用しながら、学びの連続性を重視した互惠性のある交流が行えるように近隣の小学校や保育園、幼稚園と連携し、互いの教育内容や発達について理解し合う場を設け、就学前教育の充実を目指す。
- ・ 地域の人材や専門家、施設などを活用し、幼児が興味・関心の幅を広げ、豊かな体験が得られるような機会をつくる。
- ・ 未就園児の会やぶちっこ、エール（きぼう）、児童館との交流を行い、幼児の姿や教師の関わりを通して、幼稚園教育で大切にしていることや幼児期に育てたい力などを伝え、保護者の子育て支援を行う。
- ・ 保育カウンセラーの専門性を活用し、個別相談や懇談会・講演会の機会を設けるなど、保護者のニーズに応じた支援を行い、子育てのセンター的役割を担う。
- ・ あさひがおか幼稚園として保護者が保育活動の相互理解を深められるように、活動内容を周知する機会を設ける。

(4) その他

- ・ 園内研究のテーマを「幼児が遊びや人との関わりを十分に楽しむための教師の援助と環境構成の工夫」とし、そのための活動や指導方法を探る。
- ・ 幼稚園に通う幼児が、共通の理念の元、同じ経験を積み重ね、小学校への滑らかな接続を目指した取組の充実を図る。
- ・ 保護者や地域の人材を活用した絵本の読み聞かせや、言葉や音楽などに親しむ活動、季節の行事などの豊かな体験を通して、日本や世界の文化に触れる機会を意図的に設ける。
- ・ 幼児一人一人が自分や周りの人の生命や体を大切に思う気持ちや態度を育むために、視覚教材等を活用して発達に応じた計画的な生命（いのち）の安全教育を実施し、性への理解に向けた取組を進める。

3 教育週数及び教育時間

(1) 教育週数

月 学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5歳	17	20	20	14	0	20	21	18	19	16	18	15	198日
	15週 0日					16週 4日				10週 3日			42週
4歳	15	20	20	14	0	20	21	18	19	16	18	17	198日
	14週 3日					16週 4日				11週 0日			42週

(2) 教育時間

	I	II	III	IV	V	備考
5歳	4月8日	4月10日	7月12日	9月4日	3月14日	I期：園生活に慣れるため、および心労を防ぐため II期：気温上昇による健康管理のため III期：気温上昇による健康管理のため IV期：12月22日～1月9日は季節性の感染症を防ぐため V期：就学を控え、心労を防ぐため
	∪	∪	∪	∪	∪	
	4月9日	7月11日	9月3日	3月13日	3月23日	
	9時00分	9時00分	9時00分	9時00分	9時00分	
4歳	4月9日	4月21日	7月12日	9月4日	3月14日	I期：園生活に慣れるため、および心労を防ぐため II期：気温上昇による健康管理のため III期：気温上昇による健康管理のため IV期：12月22日～1月9日は季節性の感染症を防ぐため V期：就学を控え、心労を防ぐため
	∪	∪	∪	∪	∪	
	4月18日	7月11日	9月3日	3月13日	3月25日	
	9時00分	9時00分	9時00分	9時00分	9時00分	
4歳	∪	∪	∪	∪	∪	
	12時00分	14時00分	12時00分	14時00分	12時00分	

(3) 1日の標準教育時間

5歳	4時間	4歳	4時間
----	-----	----	-----